World Triathlon Championship Series YOKOHAMA 2021

OPEN YOKOHAMA

# ワールドトライアスロンシリーズ（2021/横浜）
# ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）

## コロナ対策マニュアル
## New Standard YOKOHAMA
## （抜粋版）

# 1.危機管理

## 1.危機管理対応(対応フロー)

コロナ禍の中、政府や東京オリパラ等の動向を注視し、大会開催に向けて最善の対応ができるように、横浜市・横浜市スポーツ協会・JTU・日刊スポーツによる「大会危機管理対策会議」を設置しています。

## 大会開催判断基準

（1）各組織の対応にかかる基本的判断基準

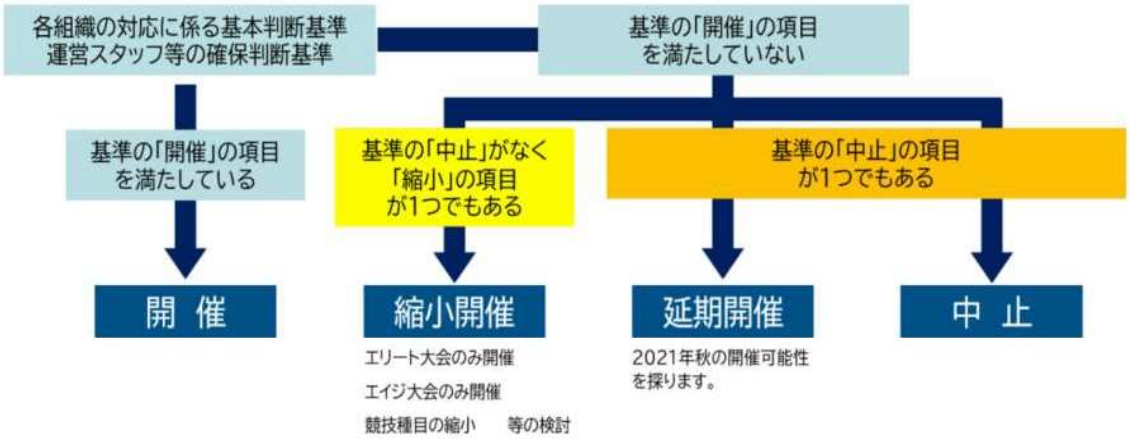
| 判断項目（凡例） | 中　止 | 縮小開催 | 開　催 |
|---|---|---|---|
| 1.政府宣言 | 緊急事態宣言 | 警戒継続・収束方向 | 収束（的）宣言 |
| 2.参加国の状況 | 渡航禁止 | 渡航自粛 | 解除 |
| 3.競技団体（WT） | 中止勧告・決定 | 大会運営への安全配慮 | 大会運営への安全配慮 |
| 4.横浜市・神奈川県 | 施設閉鎖・外出自粛・医療対応困難 | 外出自粛解除 | 主催事業の制限解除 |

（2）運営スタッフ等の確保判断基準

| 項　目 | 中　止 | 縮　小 | 開　催 |
|---|---|---|---|
| ①設営スタッフ<br>②警備、誘導スタッフ<br>③メディカルスタッフ<br>④審判員<br>⑤マリンスタッフ<br>⑥ボランティア・スタッフ<br>└協賛企業ボランティア<br>└一般ボランティア | ・各スタッフが、確保できない場合、また、感染予防対策及び感染時対策ができない場合<br>・⑥の参加に理解が得られない場合 | ・大会運営上に支障のないぎりぎりの範囲で確保できる場合 | ・すべてのスタッフが計画通りに確保できる場合 |

## 大会開催判断の流れ

（1）開催判断フロー



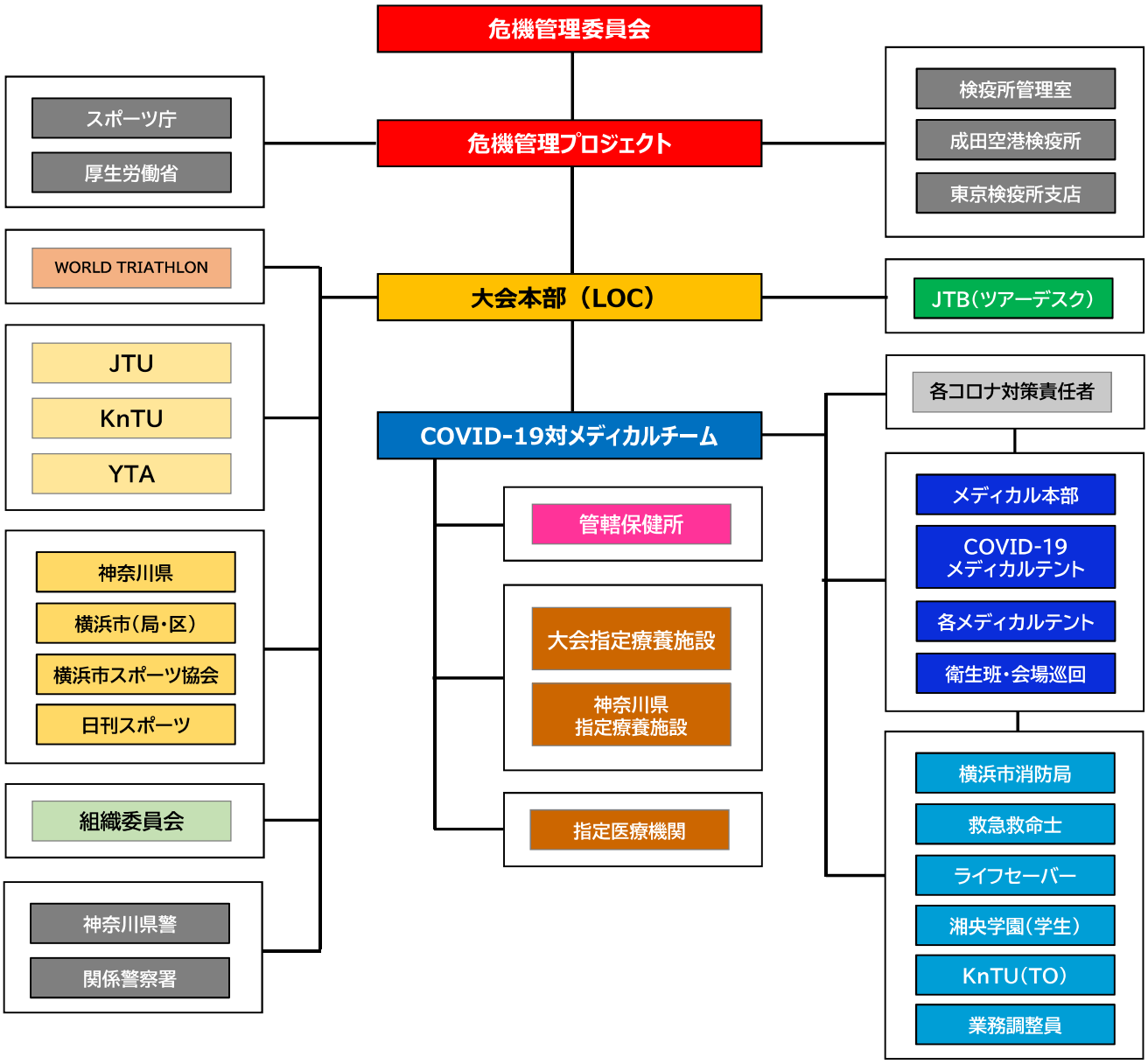

（2）関係者への的確な情報提供

判断時の状況に応じて、大会関係者へ必要な情報提供を行います。

ア.提供範囲・・・協賛パートナー、関係機関、関係団体、関係事業者、参加者、一般公開

イ.提供方法・・・訪問、電話、メール、HPによる公開など、相手先によって適宜判断します。

## 感染対策全体体制図




### ◆COVID-19メディカルチーム　業務役割

| 名　　称 | 名　　前 | 役　　割 | 区　分 | 業　　務　　内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| LOCコロナ対策統括責任者 | | 本部 | 事務局 | 危機管理プロジェクト、WTとの連絡・調整 |
| マネージャー | | チーム運営医療監修 | 医師 | COVID-19対策チームの医療監修 |
| コーディネーター（Co.） | | チーム責任者 | 救急救命士 | チームの運営・管理、LOCとの連絡・調整<br>メディカルチームとの連絡・調整 |
| サブコーディネーター | | Co.サポート | 救急救命士 | コーディネーターのサポート<br>5/11～5/13　ドクター補助兼務 |
| 診療所ドクター<br>(マネージャー兼務) | | 診察・緊急抗原検査 | 医師 | 5/11～5/16　診療所およびテントでのCOVID-19関連対応<br>陽性者発生時の保健所届出、検査陰性証明発行 |
| 診療所ナース | | ドクター補助 | 看護師 | 5/14～5/16　ドクター補助 |
| 診療所業務調整員 | | 運営管理・連絡調整 | 救急救命士 | 5/14～5/16　COVID-19テント連絡・調整業務 |
| COVID-19車両 | | 車両運転手 | | COVID陽性者等の搬送 |
| 通訳 | 1名 | 通訳 | | |

## 新型コロナウイルス感染対策責任者の選定

▹ 本大会運営を行う上で、各役割においての感染対策責任者を選定した。
下記メンバーを中心に、大会に関わる全ての人が 感染対策に対する共通の認識・理解を持つよう推進する。

### ■感染症監修：二木　芳人　(にき　よしひと)　教授

【感染対策責任者】

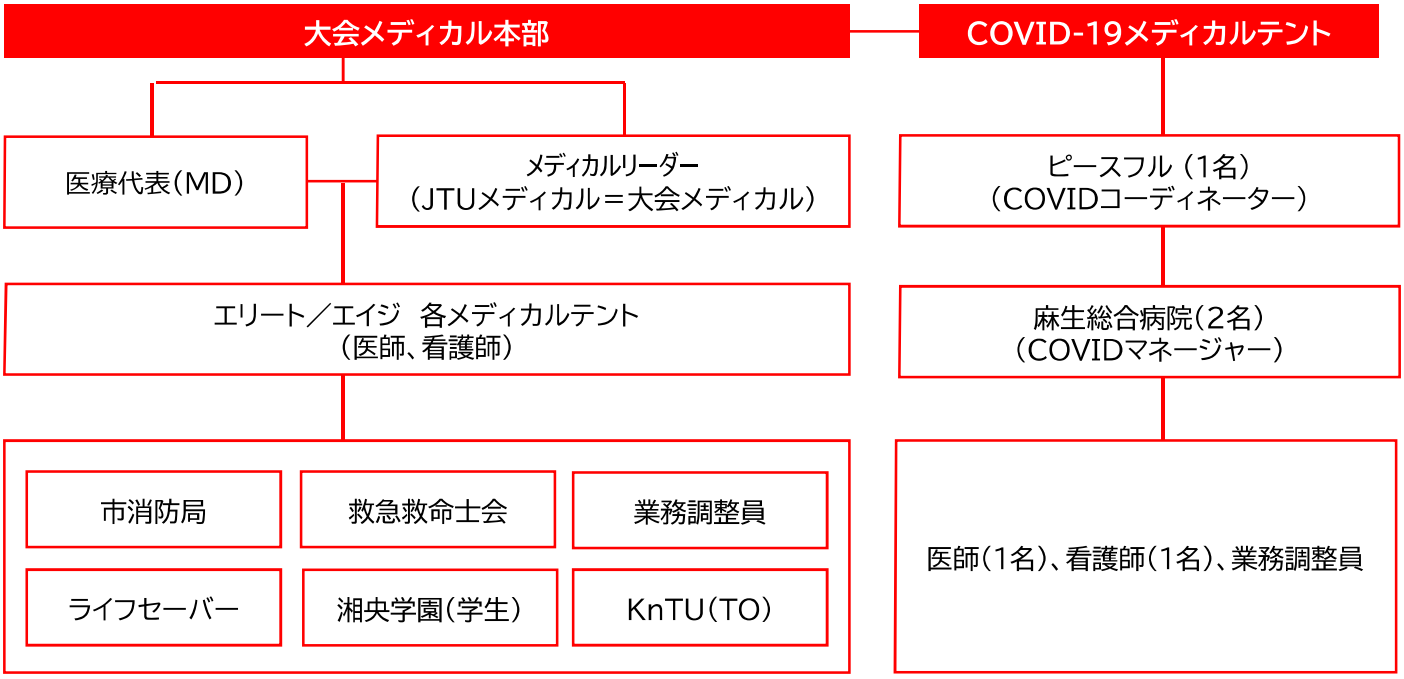
| 役　　割 | 部　署　等 | 担当者 | メ ー ル ア ド レ ス | 連　絡　先 |
|---|---|---|---|---|
| 医療代表(JTU) | | | | |
| 全体責任者(LOC) | | | | |
| コロナ対策統括(LOC) | 総務部・広報部 | | | |
| | 競技運営部 | | | |
| | ブランディング部 | | | |
| | サービス部 | | | |

【コロナ対策責任者】

| No | 役　　割 | 企業・団体名等 | 担当者 | メ ー ル ア ド レ ス | 連　絡　先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 競技運営(海外受入責任者) | | | | |
| 2 | 競技運営 | | | | |
| 3 | 会場設営 | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | スポーツプレゼンテーション | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | 公道管理 | | | | |
| 8 | 海上管理 | | | | |
| 9 | 宿泊・輸送 | | | | |
| 10 | ホストブロードキャスト | | | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | 計測 | | | | |
| 13 | メディカル | | | | |
| 14 | メディカル(COVID-19) | | | | |
| 15 | 救急救命 | | | | |
| 16 | 行動管理 | | | | |
| 17 | 写真判定 | | | | |
| 18 | メカニック | | | | |
| 19 | メディア | | | | |
| 20 | 会場管理(練習会場含む) | | | | |
| 21 | 日本人選手窓口 | | | | |
| 22 | エイジ選手窓口 | | | | |

## 感染対策メディカル体制図

### ◆傷病者・体調不良者発生時におけるメディカル体制図

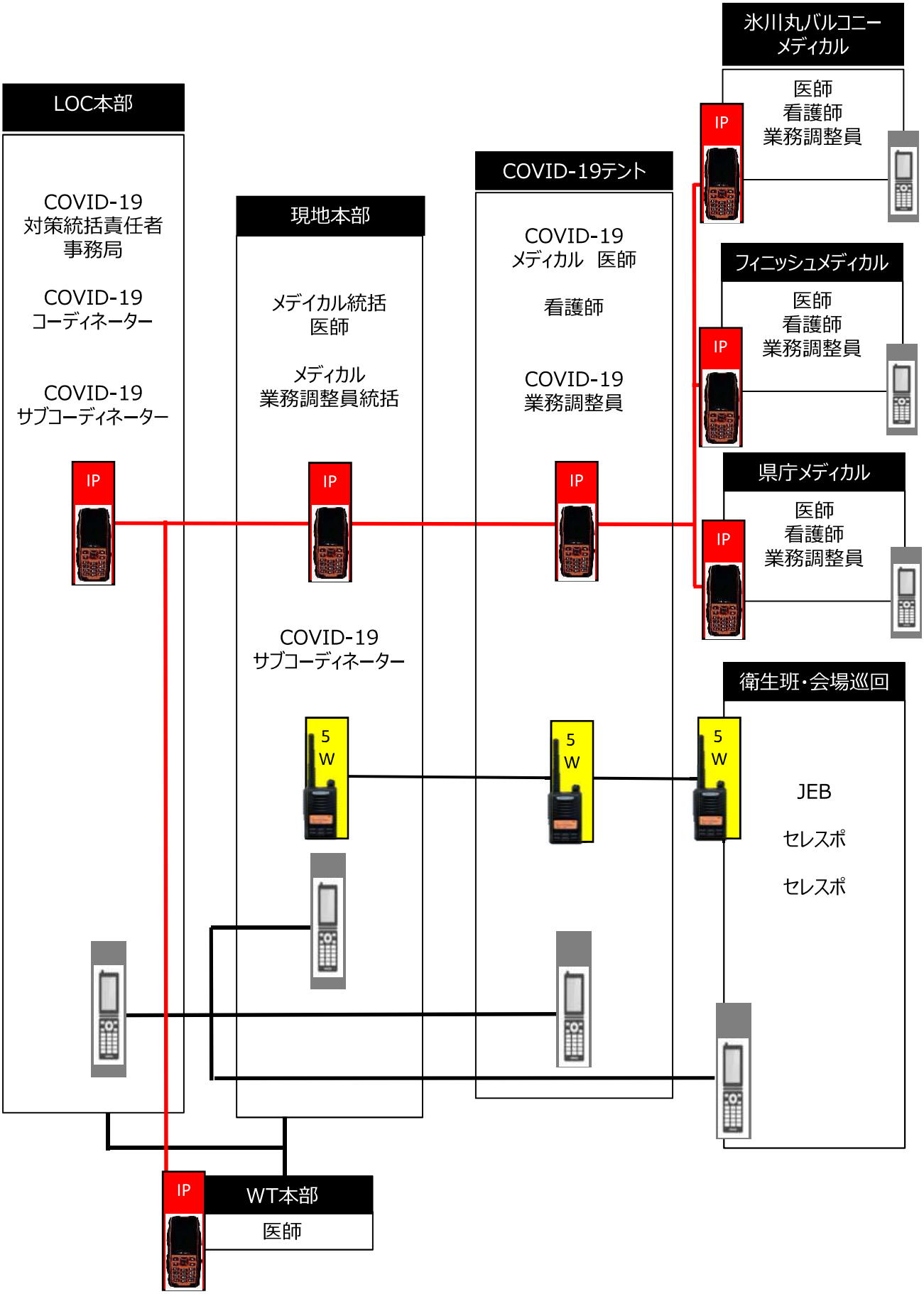



### ◆メディカル主な連絡先

| 氏名 | 業務 | 場所 | 電話番号 |
|---|---|---|---|
| | 医療代表 (JTU) | 医務救護 | 無線対応<br>携帯： |
| | メディカルリーダー | 医務救護 | 無線対応<br>携帯： |
| | コロナ対策統括者<br>(大会事務局) | LOC | 無線対応<br>携帯： |
| | コロナ対策担当医師 | COVID-19 | 携帯： |
| 世界トライアスロンシリーズ横浜大会事務局 | | LOC | |

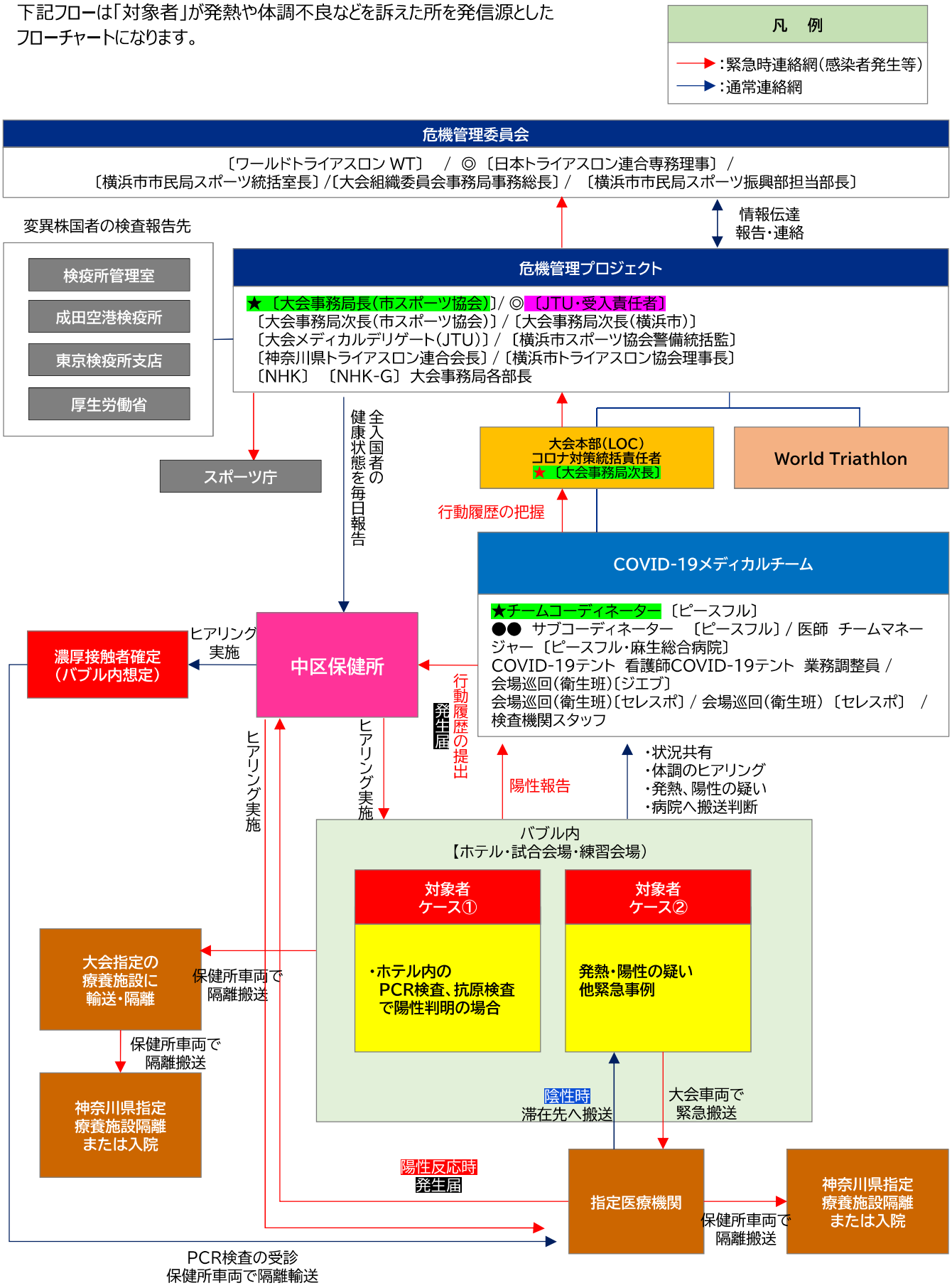
※感染疑い者発生時メディカル対応は無線や電話で対応
※体調不良者への対応については後方支援病院にて対応

## 感染対策メディカル通信体制図



## 陽性者発生時の対応フロー

下記フローは「対象者」が発熱や体調不良などを訴えた所を発信源としたフローチャートになります。



## 2. 感染症対策連絡フロー

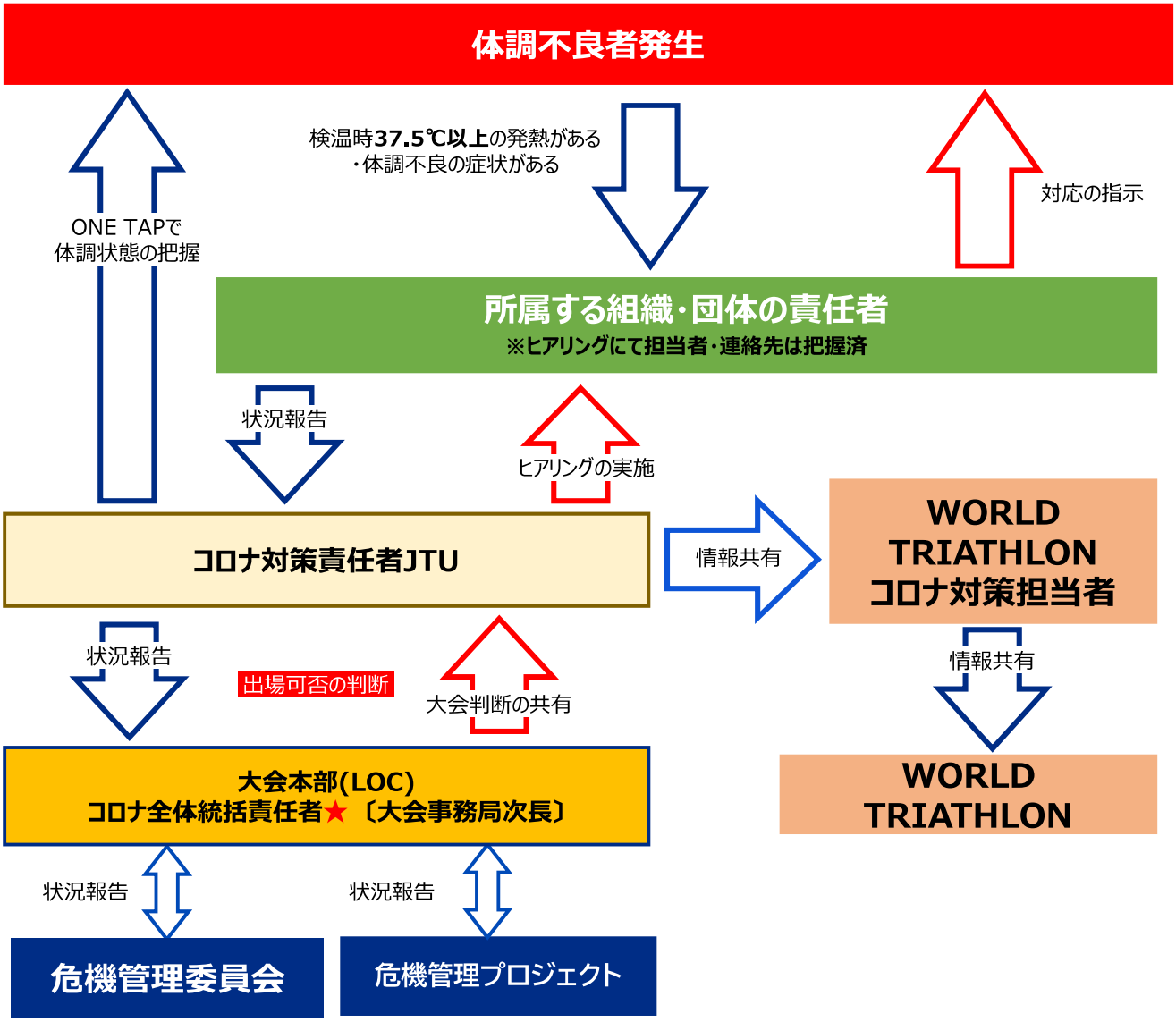
### 海外入国者対象

**◆入国前・帰国後14日間において(自国滞在期間)感染者および感染の疑いのある者が出た場合**

【入国前・帰国後の健康管理】
期間(入国前)：**4月27日(火)～5月10日(月)**
期間(帰国後)：**5月17日(月)～5月30日(日)　※各国の帰国日による**
実施方法　　：**ONE TAP(WEBで各自入力)**

- 感染者、感染の疑いのある者が出た場合には速やかに下記の通り報告をすること。
- 感染者、感染の疑いのある者と行動をともにした場合は、防疫措置の一環として渡航は控える。
- 所属する組織(NF)の担当者は、事前ヒアリングした担当者とする。
- LOC担当者は、NFとの連絡系統を事前に把握しておく必要がある。
- 事象が発生した場合、各担当者は連絡報告を速やかに行うこととする。
  ※自国にいるエリート(関係者含む)は各国対応とする

**【連絡フロー】**



## 国内選手・関係者対象

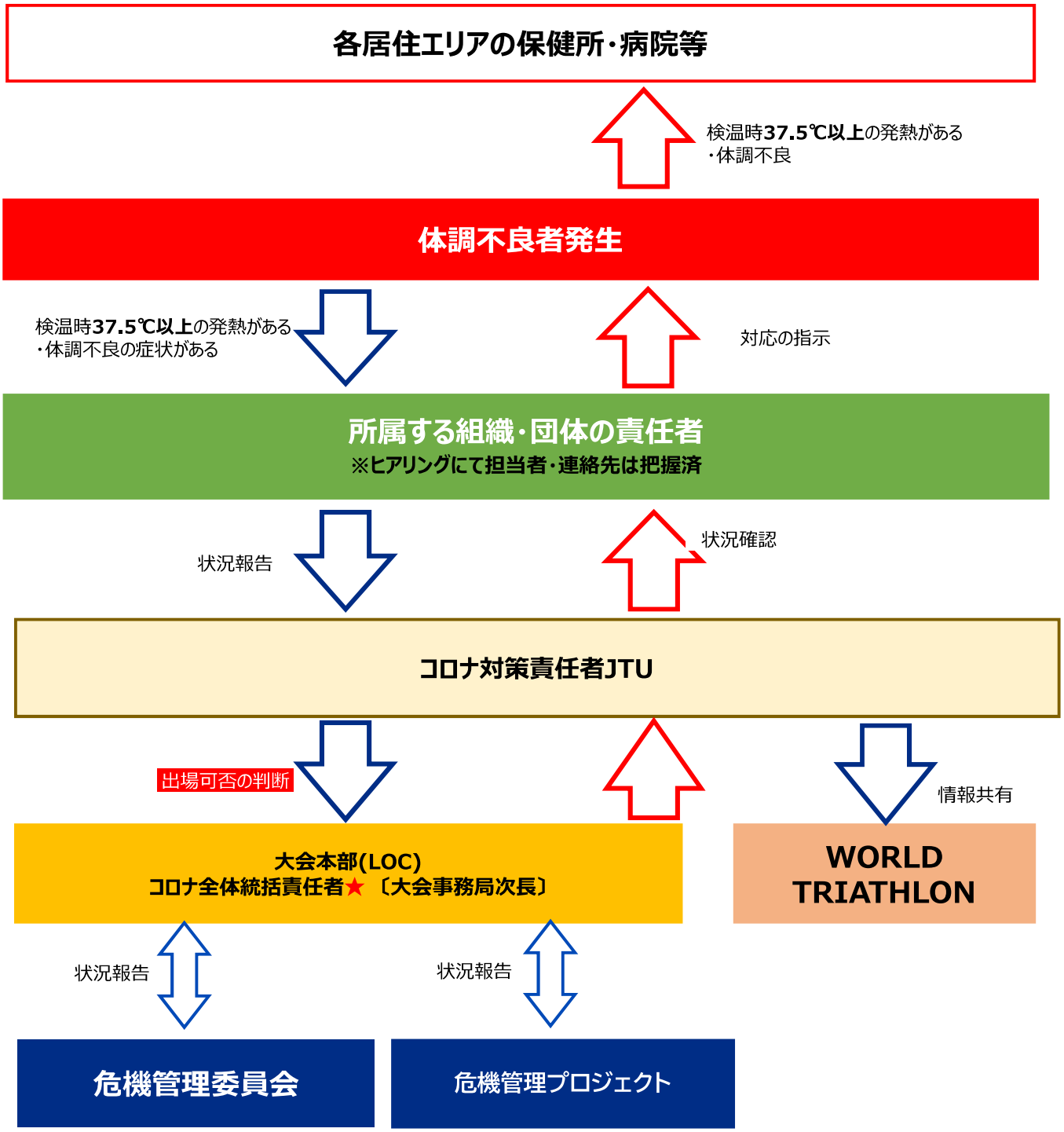
### ◆大会開催前・終了後14日間（レースWeek以外）において感染者および感染の疑いのある者が出た場合

【大会開催前・終了後の健康管理】

**期間(入国前)：4月27日(火)～5月10日(月)**
**期間(帰国後)：5月17日(月)～5月30日(日)**
**実施方法　　：ONE TAP(WEBで各自入力)**

▹ 感染者、感染の疑いのある者が出た場合には速やかに下記の通り報告をすること。

**【連絡フロー】**



# 2.共通事項

## 4.前提条件

**New Standard YOKOHAMA（以下、NSY）は、コロナウイルス感染症対策として、コロナウイルスを『感染しない・させない』為の指標とし、大会に関わる全ての皆様と共通の理解を促進させ、より安心安全に競技と運営を行うための資料です。地域住民と参加者、大会関係者、全ての人が安心して大会を行うことができるよう、NSYを理解して運用をお願いいたします。**

### ◆感染症対策の基本方針

大会主催者はイベントに関わるすべての方の健康と安全を最優先に考え、感染症対策については、政府・自治体等の方針に従い、最新の情報を適用し、各所と連携して進める。

**【感染予防の考え方】**

①2週間の健康行動チェックを実施し、問題ない方は感染している可能性は低いとみなす。

②選手は、マスクなしで競技を行うことにより感染リスクが高まる。その為、PCR検査を実施し、安心安全を確保した上で競技に挑む。また、選手と近距離で接触する関係者には、PCR検査を実施する。

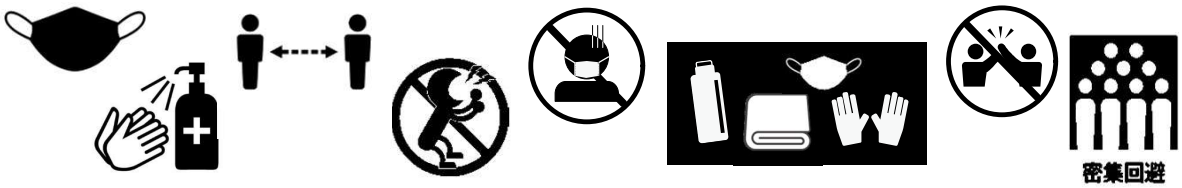
PCR検査や2週間の健康行動チェックで感染している可能性が低い人同士が『感染しない・させない』行動を取っていれば『感染する』可能性は低いとみなし、濃厚接触を避けることが最大の予防策と考える。

### ◆共通事項

以下に記載する基本的な感染症対策については、各個人において実施する。

**『感染しない・させない』ための行動を厳守する。**

▶大会に関わる全ての関係者が2週間の健康チェックを行い「健康が保たれていること」を前提とする。
▶マスク、個人用手指消毒液は各自で用意し、マスクは常に着用する。
ただし、選手に限り、競技中のマスク着用については、別途定めるアスリートガイドに従う。
▶大会に関わる全ての人は、人混みを避け、ソーシャルディスタンス（２ｍ）を保つ。
▶大声での会話は避ける。
▶発熱時や体調不良を感じた場合は、大会参加及び業務、ボランティア協力を取りやめる。
▶大会に関わる全ての人は、各自で感染症対策（マイボトル、タオル、マスク、使い捨て手袋など）を講じる努力をする。
▶手指のこまめな消毒と洗浄を行う。
▶握手、ハイタッチ、ハグなど、人と人との接触を避ける。
▶個人同士での各器具や装具、備品の共有は行わない。
▶備品、設備などの使用前後に消毒を行う。
▶ 65歳以上の方、また、既往歴等がある方は、より一層の感染症対策をとるか、参加を控えることを推奨する。
▶海外から参加する選手、役員、コーチ、マネージャー等、全てにおいて民間保険への加入を義務とする。
▶より一層の感染症対策のため、PCR検査を事前に受診することを推奨する。
▶日本国政府が指定する行動管理アプリCOCOAをダウンロードする。
行動管理アプリ「COCOA」
**https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html**



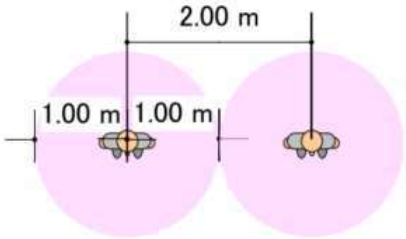

**※濃厚接触の定義**（国立感染症研究所感染症疫学センター発表内容より引用）
「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。
- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者

（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

## 人と人との距離・収容人数について

### ◆基本的な考え方

**・人と人との距離（口と口）は、2m以上保つことを基本とする。**

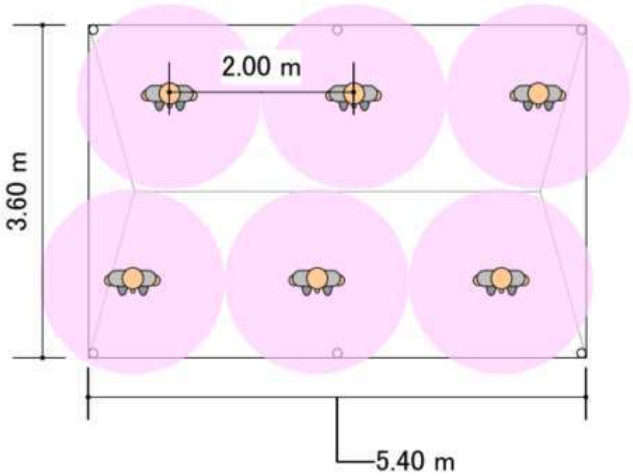



**半径（1m）×半径（1m）×3.14＝3.14㎡**

1人につき、3.14㎡のスペースを必要とする。

**・テント内で作業や休憩、着替えなどを行う場合の収容人数の目安は以下の通り。**

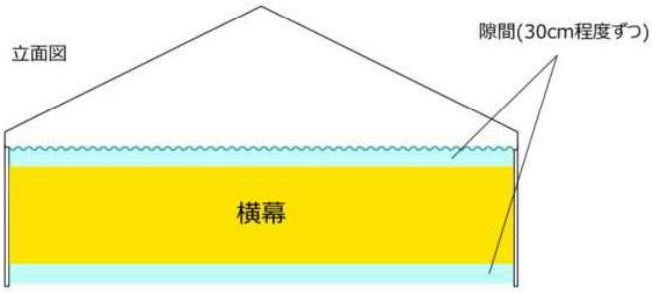
【テント　（2間 x 3 間）の場合 =6名】




**原則6名程度を推奨**

### ◆テント横幕について

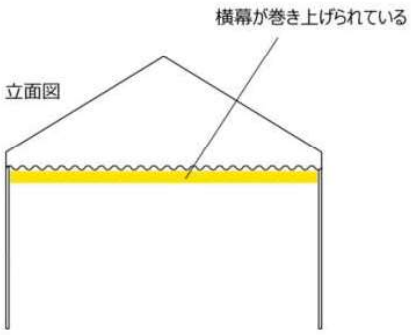
◆視覚的配慮の必要なテント
（アスリートラウンジ・リカバリー・メディカル・COVIDテント）




※テント側面の上下に隙間を作り、換気を促す

この仕様であれば、テント内に設置されるべきは、
空気清浄機ではなく、
空気を循環させるサーキュレーターが適任？

◆その他 諸室テント




※基本的に横幕を巻き上げた状態で使用する

この仕様であれば、屋外状態とほぼ変わらない
その為、
空気清浄機もサーキュレーターも不要の認識

5.アスリートトラック

## アスリートトラック概要①

**選手及びスタッフ、関係者の受入については、国内外問わず、日本国政府が発令したアスリートトラックに準ずる。**

### ◆アスリートトラック概要

**■海外入国者受入の条件として、下記の防疫措置を実施する義務あり。**
**■日本人選手関係者に関しては、海外入国者同等の防疫措置を行う。**
**■入国者(選手関係者)の管理は、隔離を前提とする。**

《対象者》

① オリパラ関連大会に出場する日本人選手・外国人選手
② ①の選手に随行しそのコンディション調整等に不可欠な者
③ 大会関係者

《防疫措置》

**出国**

- 出国前(72時間以内)に検査を受検し「陰性」の検査証明を取得。入国時に提出。
- 入国前14日間健康管理。新型コロナウイルス感染症の症状が認められる場合は、渡航中止。

**入国**

- 全入国者は、到着空港(成田国際空港)の検疫所において抗原検査を受検。

**入国14日間**

**①健康管理**

- 健康状態の報告等を実施。陽性判明時に陽性登録を行うため、接触確認アプリを利用。
- 陽性者が判明した場合、さかのぼって行動を確認するため、地図アプリで位置情報保存。
- 入国後3日目、競技日前日、競技終了後にPCR検査を実施
  ※変異株流行国の入国後3日目の検査結果をスポーツ庁、厚生労働省、成田空港検疫所に報告する。
  ※入国後、滞在期間が10日間以上になる場合は入国後8日目にも検査を実施する。
  ※日本選手団及び対象者に帯同する日本国内から参加するスタッフは、隔離解除後の5日目と14日目検査を実施する。
  ※入国３日目と試合前日の検査日が同日の場合、１回の検査で可

**②行動管理**

- 一般の方との接触を避けた行動管理を徹底する。
- 入国後14日間の行動範囲は、食事を含め用務先(競技会場、練習場等)と宿泊場所の往復のみに限定。
- 基本的な感染予防(ソーシャルディスタンスの確保・手指の消毒または手洗い・マスクの着用等)

**③移動手段**

- 公共交通機関を利用せず、専用車での移動とする。

**④実効性担保**

- 受入責任者による管理。誓約書、本邦活動計画書の事前提出。誓約に違反した場合の措置等。

**⑤その他**

- 大会主催者等は、感染症に関する専門家等の意見を踏まえ作成したガイドライン等を遵守した上で大会や大会前後の交流活動を実施することとし、全参加者はこれに従う事とする。

## 6.全体共通事項

# スタッフ健康管理

### ◆健康チェックについて

**【健康チェック実施プロトコール】**
・**現地入り前14日間**の検温及び健康チェック
・**滞在期間（業務期間中）**の検温および健康チェック
・**事後7日間**の健康チェック
・それぞれ、COVID-19コーディネーターのチェックを受けること。
期間中は日々COVID-19コーディネーターが提出状況を把握する。

・大会に関わる全ての人は、現地入り前14日間の検温及び、健康状態を記録し、健康チェックシートに記入の上、大会が定める方法で提出しなければならない。
※活動日前に健康チェックシートに異常が見られた場合は、従事を控える。
・滞在期間（業務期間中）も検温及び健康チェックは行う。
※滞在期間（業務期間中）に体調不良の症状が出た場合は、危機管理フロー図に従って連絡・報告する。
・事後7日間の健康チェックを行い。
※事後、体調不良の症状が出た場合は事務局に連絡・報告する。

### ◆入場時の検温チェック

・各日、競技会場入口で大会スタッフによる検温を実施する。（検温は大会が用意する非接触型体温計を使用）
・検温待機時は、会話を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、マスクの着用を義務とする。
・検温時、37.5度以上の場合は、いかなる理由があっても、COVID-19メディカルテントに誘され、看護師または医師による問診を行う。

### ◆その他

・メディカルチームの中にCOVID-19コーディネーターを配置する。コーディネーターは、感染症対策におけるプロセスを確立し、規則の尊重と適用を管理する責任がある、
・濃厚接触者を特定できるよう、各本部ごとに名簿を作成する。
・選手及びスタッフの正確な健康管理データを把握し、その行動管理を徹底する。

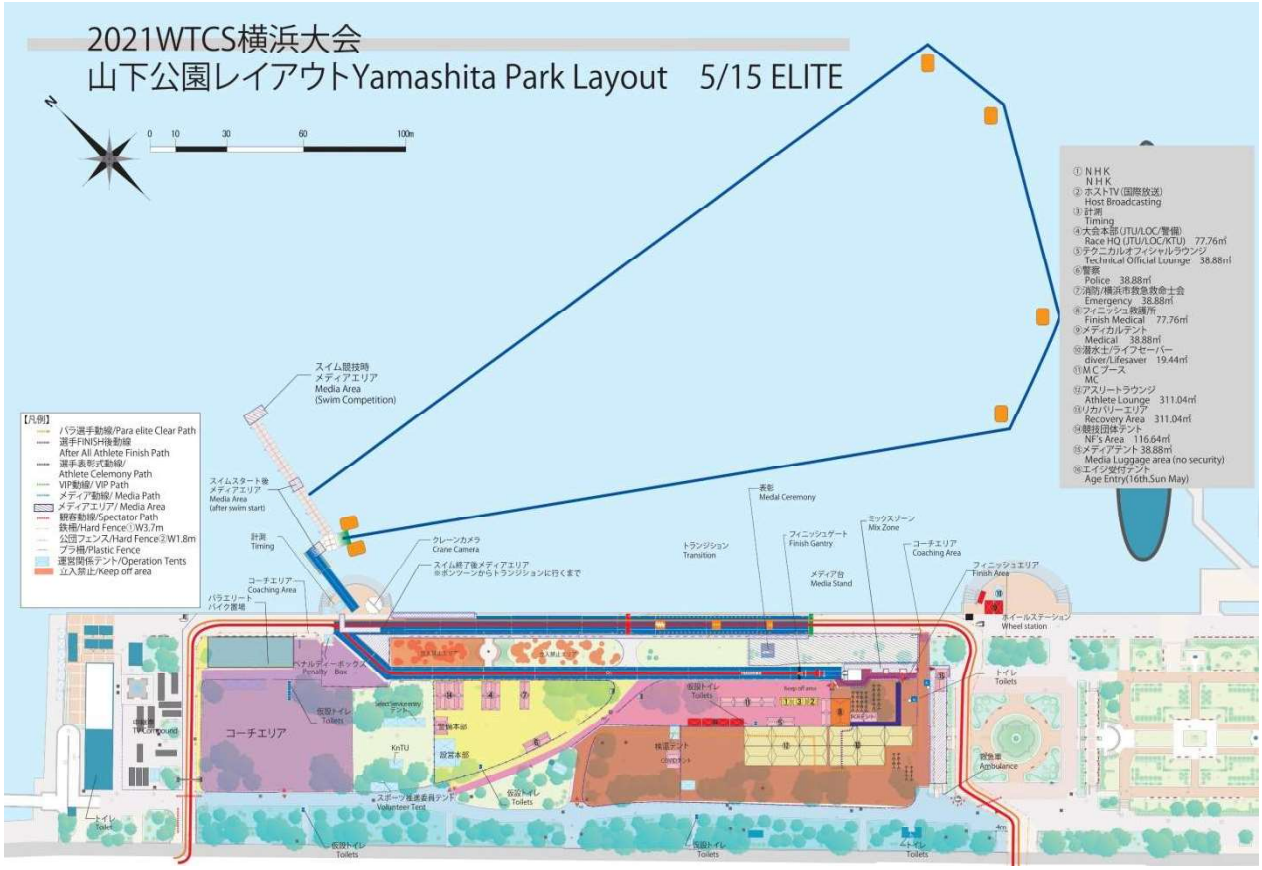
## 9.全体共通事項

## 来場者・観戦者健康管理

山下公園メイン会場は無観客で実施。沿道での応援・観戦の自粛を徹底。

・観戦誘導は行わない。
・沿道での観戦・応援自粛を徹底し、オンラインでの視聴を誘導する。
・アスリートエリア（スタート、トランジション、フィニッシュエリア等）への立ち入りはPCR検査を受け大会が許可した者のみとする。
・沿道では、「三密回避」の周知看板を持ったスタッフを巡回させ、感染症防止対策を徹底する。

### ◆会場レイアウト（エリート）




### ◆事前告知

大会公式HP、日本トライアスロン連合HP、看板、チラシ等でご案内

### ◆大会当日

**ライブ中継での観戦案内**

【エリート】
●NHK BS-1　　5月15日（土）10:00－　生中継（予定）
●TRIATHLON TV　5月15日（土）6:20－　LIVE配信（予定）
【エイジ】
日時：5月16日（日）
視聴方法：オンライン配信

**注意喚起事項**

「三密回避」の周知看板をスタッフが持ち、沿道を巡回。
感染症防止対策を徹底する。

イメージ図

## 9.全体共通事項

# 感染症対策(ソーシャルディスタンス、マスク着用、消毒、換気)

基本的な感染症対策を行い、『感染しない・させない』ための行動を厳守する。
大会会場内は、セーフティーキーパーまたはオフィサーによる巡回を行い、定期的に、感染症対策がなされているかをチェックする。セーフティーキーパーまたはオフィサーに指摘された場合は、速やかにその指示に従う。

**★セーフティーオフィサー：**LOCスタッフ（感染症対策について指示・指導する権限を持つ）
**★セーフティーキーパー：**ボランティア（感染症対策のお願いや沿道での案内を行う）

### ◆マスク、グローブの着用

・選手及び全ての関係者は、**マスク着用を義務**とする。ただし、選手に限り、競技中のマスク着用については、別途定めるアスリートガイドに従う。マスクは各自で用意する。
・主催者は、活動場所によってフェイスガード及び使い捨てビニール手袋等の着用を義務とする。なお、その場合のフェイスガード及び使い捨てビニール手袋は主催者が用意し、配布する。
・その他、必要と思う感染症対策備品等は、各自で用意し、持参する。
・使い捨てビニール手袋を使用する場合でも、頻繁な手洗いと手指消毒を行う。

### ◆手洗い・手指消毒・消毒

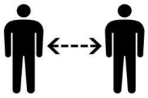
・個人用手指消毒液は各自で用意し、手指のこまめな消毒と洗浄を行う。
・会場入口に手洗い場及び消毒液を設置するとともに、会場内には複数の消毒箇所を設置する。
・全ての関係者は、個人用手指消毒液を各自で用意し、こまめに消毒を行う。
・大会会場内は、セーフティーキーパー（仮）による巡回を行い、定期的に、テント等の消毒を行う。
・機材の共有は原則として禁止する。万が一、共有した場合は都度、その使用者が消毒を行う。
・各トレーニングや大会中、大会後、備品はすべて各セクションに配置されたスタッフが協力して消毒する。

### ◆検温

・各日、会場入口で大会スタッフによる検温を実施する。

### ◆ソーシャルディスタンスの確保

・主催者は、選手、スタッフ等の**ソーシャルディスタンスを２m**確保するように会場を設定する。会場内は原則として一方通行とし、通路の狭い部分に立ち止まらないよう注意喚起する。
・近密な距離での会話を避け、大声を出さないように注意し、他人と適切な距離を取る。
・休憩や食事等は分散して取るように調整する。

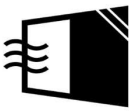


### ◆人数制限

・各諸室の人数制限を設け、入口等に掲出する。

### ◆換気

・屋内（テント含む）では常に換気に気を配り、風通しの良い環境を心がける。（閉鎖した空間は避ける）



### ◆アクリル板の設置

・対面または近接する場面には、アクリル板を設置する。

**★基本的な感染防止対策**
・上記は基本的な感染防止対策とし、各場面において必須になります。
・第4章 エリート対応以降、基本的な感染防止対策をアイコンで記しています。
該当する項目を確認し、運営を行うようお願いいたします。

## 休憩時

※テント内での飲食は原則禁止とする。
昼食は**HOTEL NEW GRANDタワー館3Fペリー来航の間の休憩スペース**でとること(大会当日15.16日）
（競技日以外は、LOC（HOTEL NEW GRAND内）を使用）

※山下公園内での食事は厳禁。

- □ 業務を行う場所と休憩場所は必ず分離させる。
- □ 休憩室は、規模に応じて入室する人数を制限し、制限人数を入り口に掲出する。
- □ 飲食時以外は常時マスクを着用し、マスクを外している間は会話をしない。
  マスクを外す際はガーゼ部に触れないよう耳ゴムを持ち、つけ外しの前後に手指消毒を行う。
  テーブルなどに外したマスクを直接置かないよう配慮する。
- □ 対面での食事が発生しないよう徹底する。
  対面や近接する場面では、アクリルパネル等で遮蔽する。
- □ 休憩室は、扉や窓などを解放し、定期的な換気を実施。
- □ 特に、屋内の休憩スペースは座席間のスペースを十分に取ること。
- □ 休憩スペースでの共有する物品や手が頻繁に触れる場所をなるべく減らし、共有を避けることが難しい物品（テーブル・椅子等）は使用前後に各自で消毒を行う。
- □ 休憩時には必ず手指消毒を行う（共有は禁止）。手指消毒用の消毒液は各自で携行する。
- □ 飲食容器、マスク、ティッシュなどのゴミを廃棄する際は、各自でビニール袋にくるむなど、適切に処理すること。
- □ 飲食物など特にお菓子などの共有（シェア・お裾分け）などを行わないこと。
- □ 休憩室の混雑緩和のため、食事などが済んだ場合は、極力譲り合うこと。

## 14.宿泊

【事務局担当】

| 競技 | **総務** | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

【関係担当団体】

**JTU** **JTB**

## ホストホテル

**宿泊期間　5月10日(月)～5月17日(月)　※各国の入国日による**

### ①HOTEL NEW GRAND【パラ選手の宿泊先】

〒231-8520
神奈川県横浜市中区山下町 10番地
【アクセス】
競技会場まで徒歩約2分

### ②Yokohama Bay Sheraton Hotel&Towers

220-8501
神奈川県横浜市西区北幸１丁目３－２３
【アクセス】
競技会場まで車約15分

# ①HOTEL NEW GRAND

## 《パラ選手の宿泊先》

### ◆チェックイン方法

**1.ホテル到着**

(1)ホテルニューグランド正面(山下公園通り側)で降車
(2)到着時に、ツアーデスクスタッフがバスに乗車し館内説明
(3)説明が完了後、チェックイン作業へ

**2.チェックイン**

(1)選手・関係者は通常のチェックインカウンターでなく、
バス及び専用車内でチェックイン
(2)ルームキー及び館内利用に関しての説明をし
スタッフの誘導のもとお部屋まで移動
(3)バイクの扱い…持込可能なサイズ⇒各自の部屋で管理
…持込不可能なサイズ⇒ニューグランド地下駐車場

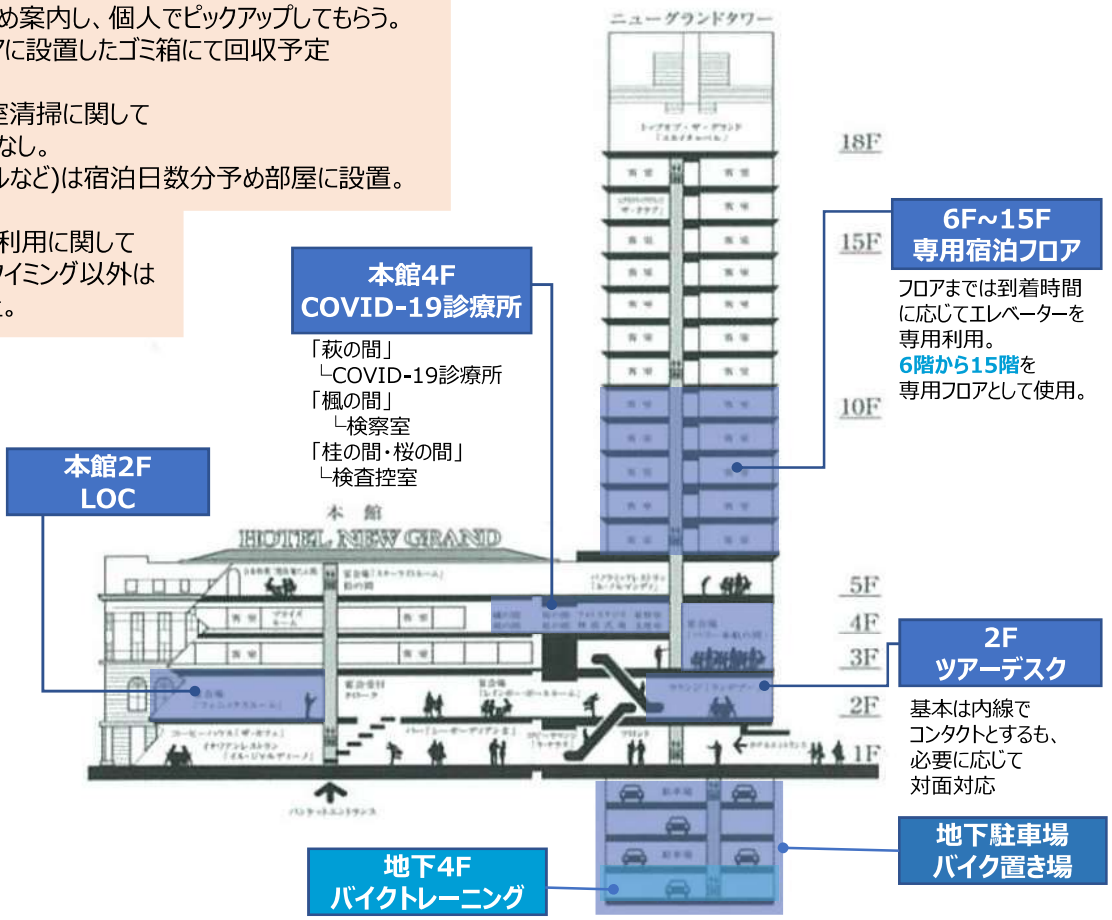
貸切バス乗降場所

### ◆滞在期間中のフロアマップ

▹ 食事に関して
各フロアにテーブルを設置し、その上に必要個数を配置。
設置時間を予め案内し、個人でピックアップしてもらう。
ゴミは、各フロアに設置したゴミ箱にて回収予定

▹ アメニティ・客室清掃に関して
部屋の清掃はなし。
アメニティ(タオルなど)は宿泊日数分予め部屋に設置。

▹ エレベーターの利用に関して
練習・試合のタイミング以外は
原則利用禁止。



# ②Yokohama Bay Sheraton Hotel&Towers

## 《エリート選手の宿泊先》

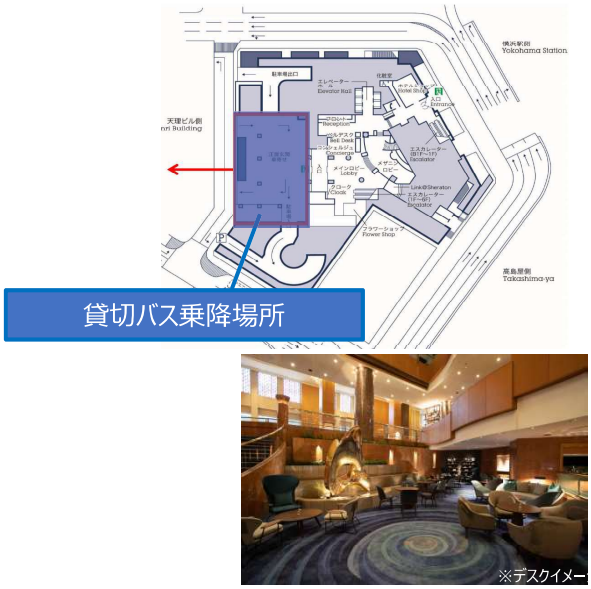
### ◆チェックイン方法

**1.ホテル到着**

(1)ホテル正面口で降車
(2)到着時に、ツアーデスクスタッフがバスに乗車し館内説明
(3)説明が完了後、チェックイン作業へ

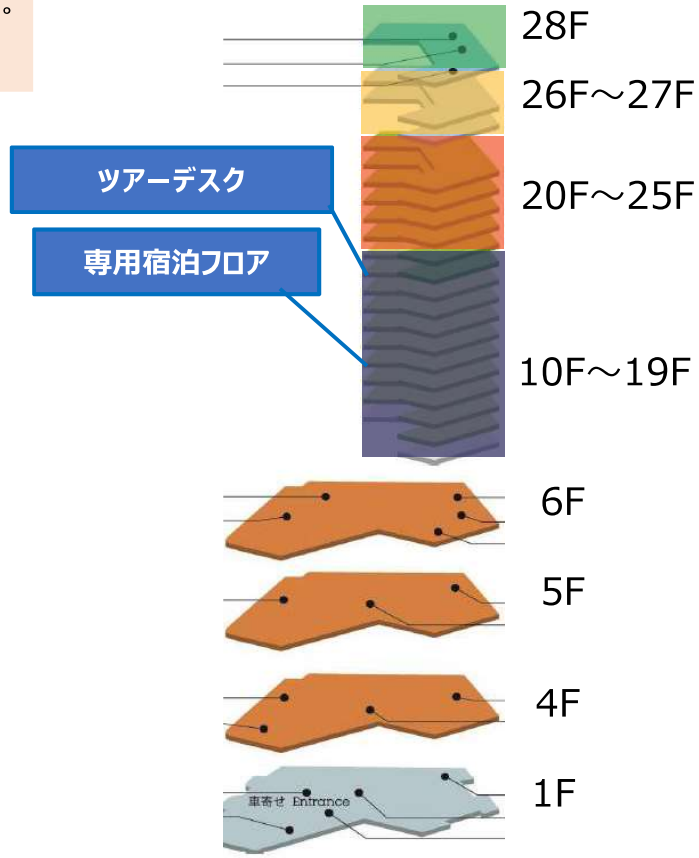
**2.チェックイン**

(1)選手・関係者は通常のチェックインカウンターでなく、バス及び専用車内でチェックイン
(2)ルームキー及び館内利用に関しての説明をしデスクスタッフの誘導のもとお部屋まで移動
(3)バイクは輪行バッグに入れ、部屋まで持込




### ◆滞在期間中のフロアマップ

- 食事に関して
  各フロアにテーブルを設置し、その上に必要個数を配置。
  設置時間を予め案内し、個人でピックアップしてもらう。
  ゴミは、各フロアに設置したゴミ箱にて回収予定
- ツアーデスクに関して
  客室フロアの1フロアに設置予定
- アメニティ・客室清掃に関して
  部屋の清掃はなし。
  アメニティ(タオルなど)は宿泊日数分予め部屋に設置。
- エレベーターの利用に関して
  練習・試合のタイミング以外は原則利用禁止。
- 警備員：出入口４か所配置



# 7. 観客者対応

## 165. 応援時

## スタート地点

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

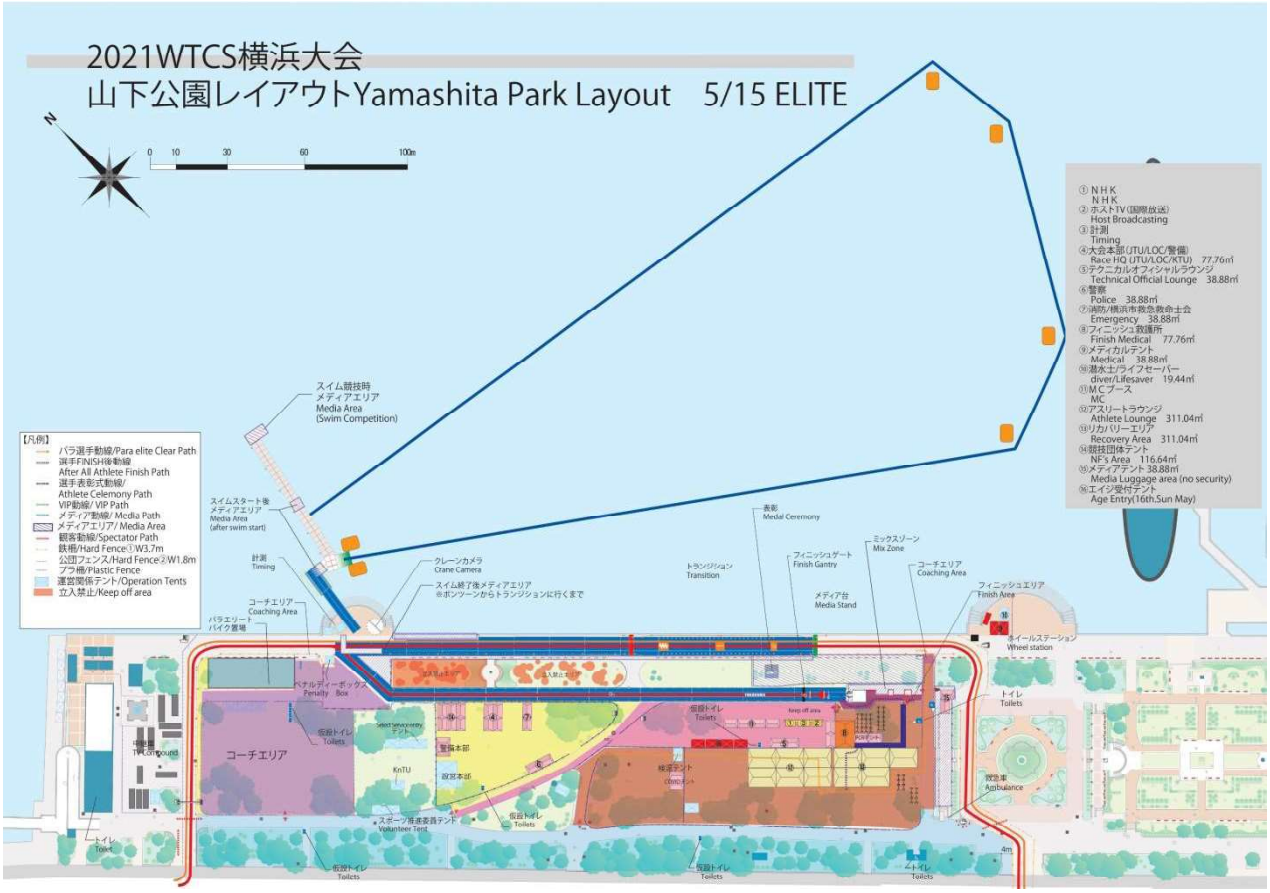
【関係担当団体】

**プロジェクト**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | ○ | | ○ | | |

**【会場ゾーニング】**




### ◆業務実施時の対策

## 1 無観客で実施

山下公園メイン会場は無観客で実施。沿道での応援・観戦の自粛を徹底。

・観戦誘導は行わない。
・沿道での観戦・応援自粛を徹底し、オンラインでの視聴を誘導する。
・アスリートエリア（スタート、トランジション、フィニッシュエリア等）への立ち入りはPCR検査を受け大会が許可した者のみとする。
・沿道では、「三密回避」の周知看板を持ったスタッフを巡回させ、感染症防止対策を徹底する。

## 166. 応援時

## フィニッシュ地点

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

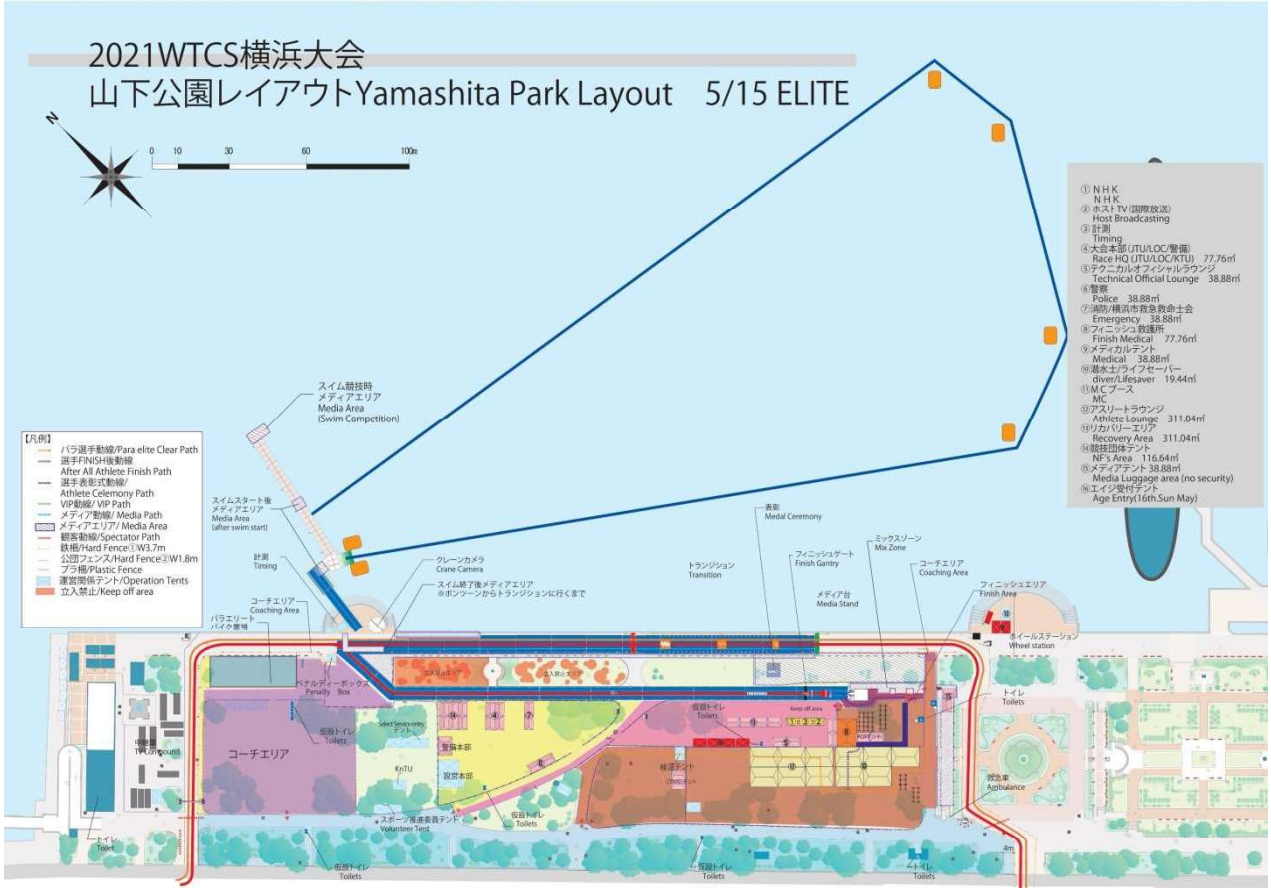
【関係担当団体】

**プロジェクト**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | ○ | | ○ | | |

**【会場ゾーニング】**




### ◆業務実施時の対策

## 1 無観客で実施

山下公園メイン会場は無観客で実施。沿道での応援・観戦の自粛を徹底。

・観戦誘導は行わない。
・沿道での観戦・応援自粛を徹底し、オンラインでの視聴を誘導する。
・アスリートエリア（スタート、トランジション、フィニッシュエリア等）への立ち入りはPCR検査を受け大会が許可した者のみとする。
・沿道では、「三密回避」の周知看板を持ったスタッフを巡回させ、感染症防止対策を徹底する。

## 167. 応援時

# 沿道

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

【関係担当団体】

**プロジェクト**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | ○ | | ○ | | |

### ◆基本的な感染防止対策の実施

※下記、項目は全体共通事項です。該当する項目を確認し「感染しない、させない」ための行動を厳守すること。

### ◆業務実施時の対策

## 1　セーフティーオフィサー及びセーフティーキーパーによる巡回

・セーフティーオフィサー及びセーフティーキーパーによる巡回を行い、定期的に感染症対策がなされているかをチェックする。

**★セーフティーオフィサー**
LOCスタッフ（感染症対策について指示・指導する権限を持つ）
**★セーフティーキーパー**
ボランティア（感染症対策のお願いや沿道での案内を行う）

## 2　新たな観戦スタイルの呼びかけ

**・ライブ中継での観戦案内**

【エリート】
●NHK BS-1　　5月15日（土）10:00－　生中継（予定）
●TRIATHLON TV　5月15日（土）6:20－　LIVE配信（予定）

【エイジ】
日時：5月16日（日）
視聴方法：オンライン配信

**・注意喚起事項**
「三密回避」の周知看板をスタッフが持ち、沿道を巡回。
感染症防止対策を徹底する。

## 168. 会場内動線

# 山下公園内

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

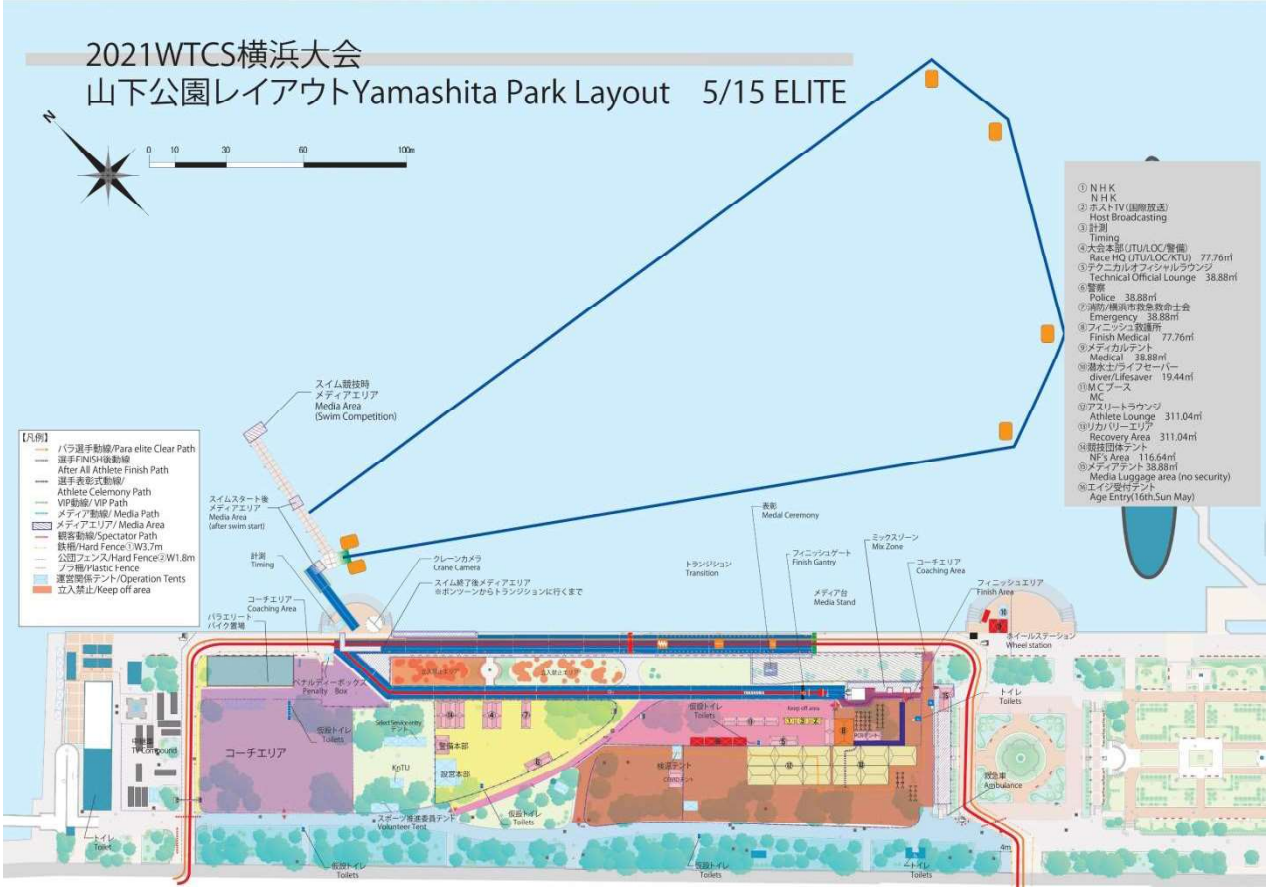
【関係担当団体】

**プロジェクト**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | ○ | | ○ | | |

**【会場ゾーニング】**




### ◆業務実施時の対策

## 1　無観客で実施

山下公園メイン会場は無観客で実施。沿道での応援・観戦の自粛を徹底。

・観戦誘導は行わない。
・沿道での観戦・応援自粛を徹底し、オンラインでの視聴を誘導する。
・アスリートエリア（スタート、トランジション、フィニッシュエリア等）への立ち入りはPCR検査を受け大会が許可した者のみとする。
・沿道では、「三密回避」の周知看板を持ったスタッフを巡回させ、感染症防止対策を徹底する。

## 169. 会場内動線

# 沿道

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

【関係担当団体】

**プロジェクト**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | ○ | | ○ | | |

### ◆基本的な感染防止対策の実施

※下記、項目は全体共通事項です。該当する項目を確認し「感染しない、させない」ための行動を厳守すること。

### ◆業務実施時の対策

## 1　セーフティーオフィサー及びセーフティーキーパーによる巡回

・セーフティーオフィサー及びセーフティーキーパーによる巡回を行い、定期的に感染症対策がなされているかをチェックする。

**★セーフティーオフィサー**
LOCスタッフ（感染症対策について指示・指導する権限を持つ）
**★セーフティーキーパー**
ボランティア（感染症対策のお願いや沿道での案内を行う）

## 2　新たな観戦スタイルの呼びかけ

**・ライブ中継での観戦案内**

【エリート】
●NHK BS-1　　5月15日（土）10:00－　生中継（予定）
●TRIATHLON TV　5月15日（土）6:20－　LIVE配信（予定）

【エイジ】
日時：5月16日（日）　●●時●●分から中継開始
視聴方法：オンライン配信

**・注意喚起事項**
「三密回避」の周知看板をスタッフが持ち、沿道を巡回。
感染症防止対策を徹底する。

# 8.大会運営全般

## 181. ゴミの管理

# 各本部・テント内での管理方法

【事務局担当】

| 競技 | **総務** | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

【関係担当団体】

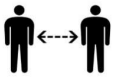
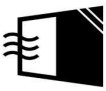
**JTU** **JTB**

### ◆対象者

| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

### ◆基本的な感染防止対策の実施

※下記、項目は全体共通事項です。該当する項目を確認し「感染しない、させない」ための行動を厳守すること。

| ①マスクの着用 | ②手洗い・手指消毒 | ③検温 | ④ソーシャルディスタンスの確保 | ⑤人数制限 | ⑥換気 | ⑦アクリル板の設置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | |  | |  | |

### ◆業務実施時の対策

## 1 各諸室各自での処理の徹底

・発生したゴミ（食事・マスク・使用済ティッシュ等）は各自で完全に密閉すること。
・各本部テントで発生したゴミは、毎日ゴミパッカーへ各自で投棄すること。

## 184. トイレの衛生管理

# 仮設トイレ

【事務局担当】

| 競技 | 総務 | サービス | 広報 |
|---|---|---|---|

【関係担当団体】

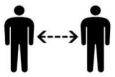
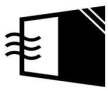
JTU　セレスポ

### ◆対象者

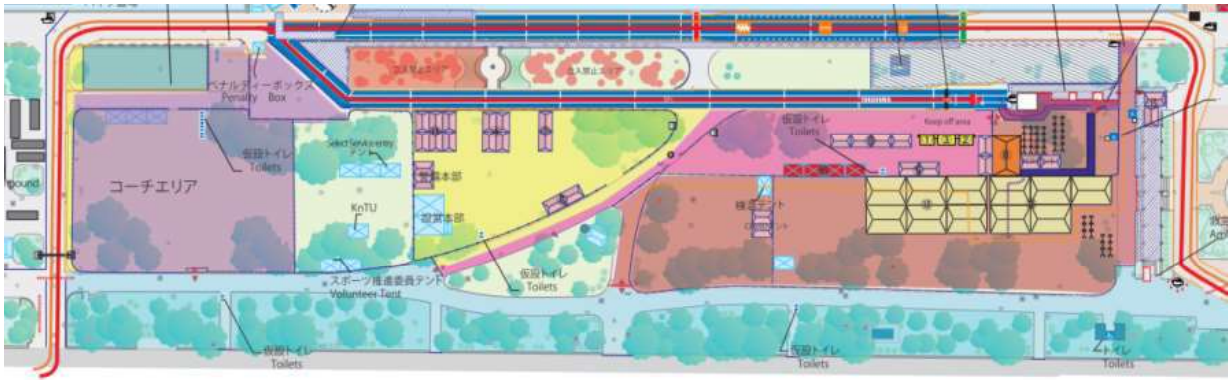
| 選手 | TO | スタッフ | ボランティア | VIP | 観客 | メディア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

### ◆基本的な感染防止対策の実施

※下記、項目は全体共通事項です。該当する項目を確認し「感染しない、させない」ための行動を厳守すること。

| ①マスクの着用 | ②手洗い・手指消毒 | ③検温 | ④ソーシャルディスタンスの確保 | ⑤人数制限 | ⑥換気 | ⑦アクリル板の設置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | |  | |  | |

### ◆トイレ




### ◆業務実施時の対策

#### 1　飛沫・飛沫・接触感染防止策

・セーフティーキーパーまたはオフィサーによる巡回消毒を行う。
・換気扇がある場合は常時稼働させる。
・適宜トイレの消毒を行う

#### 2　エリアごとにトイレを設置

・所属するエリアのトイレのみ使用可能
・他のエリアでの共有は不可